



真摯に向き合うことからすべてが始まる
人と人のつながりが
まちの未来をつくりだす

2023 JCI TAJIMI

JCNEWS

Dec. 2023 JCI TAJIMI



【JC生活を振り返って】

卒業生 天安 寿徳 君

2018年2月例会にて新入会員3分間スピーチで話が止まってしまって全く話せなかったことを当時の原稿のまま書かせていただきます。

『スーパー等で売られている野菜には規格があります。これらは市場から仕入れることが多いのですがトマトだとしや2Lなど大きさの規格、きゅうりは長さや曲がり具合といったものになります。世の中にはとても美味しいのに規格外というだけで企業に買ってもらえなくて捨てられたり、肥料にされたりしてしまうものがあります。作った野菜の約三割が売り物にならないと言われていて、この企業のすごいところはわざわざ規格外の野菜を仕入れて売るところです。捨てられてしまうものに価値を見出すという発想。物事に対する見方の違いにとっても驚きました。

まだ入会して一ヶ月と短いですが、青年会議所での活動でこれは大変だと思ったりするものがたくさんあると思いました。私は地域の未来確立委員会に所属しておりますが、先日の委員会で陶器祭りの企画書を拝見させていただきました。委員会の中でとても細かいとこまで討論されて驚きました。先ほどの野菜の話で物事に対する見方の違いのお話をさせていただきました。今回で言いますとスピーチをさせていただいて、ただなんとなく乗り切ったで終わるのか、大勢の前で話をして勉強になったと思うのでは全然違うと思います。ただなんとなくするのはではなく、とても重要な価値があると思っていて会議所での活動を通して成長していければと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。』

2018年の3分間スピーチではお話しできませんでしたが、その想いをもって活動してまいりました。それが6年間で私個人の出席率として例会は100%、事業98.2%（一回の欠席は体調不良）につながったと思います。そして、そのなかで様々な経験、学びを得ることができました。家庭や仕事、JCとありましたので大変で厳しく、苦しい時もありましたが、家族や先輩方、友人、多くの人に支えられなんとかここまで来ることができました。

6年間ありがとうございました。



【JC生活を振り返って】

卒業生 加藤 廣太郎 君

多治見青年会議所に入会して今日まで7年間本当にお世話になりました。関わっていただいた方々に心から感謝申し上げます。

18歳から飲食店の仕事しか経験した事がない僕にはJCでの体験はとても新鮮で貴重な時間でした。

雇われの身であり、バーテンダーという仕事柄なかなか自由に動ける時間がなく、みなさんと同じ様には委員会や事業その他のイベントにも参加できず迷惑をおかけしたと思いますが参加した時には笑顔で「来てくれてありがとうね」「廣太郎さんありがとうございます」と温かく受け入れてくれるみなさんの心にいつも感謝していました。

最後の3分間スピーチでも話しましたが今の僕があるのは出会ってきた方々のおかげです。色んな方と関わりながら良いところを真似る良くない所は真似しないようにする、その繰り返しで今の自分があります。青年会議所の中でももちろんそれは一緒にBUZZでは出会えなかった仲間と知り合う事ができ新しい刺激と良い影響をたくさんうけました。BUZZにいるだけではできなかった成長をくれたメンバーのみなさん本当にありがとう。

Mr.Childrenの「彩り」という曲は聞いてもらえたでしょうか？笑 ぜひみなさんのお仕事と重ねて聴いてもらえると嬉しく思います。

自分の仕事が誰かを笑顔にする、幸せにする、その笑顔、幸せをもらった人がその幸せな気持ちで自分の知らない誰かを笑顔に、幸せにする。自分は知らない誰かだけどその笑顔に自分は繋がってる。その笑顔、幸せのリレーがどんどん広がってまたいつか自分に帰ってるかも、そんな素敵な歌です。ぜひそんな気持ちでお仕事、そしてJCを盛り上げていってほしいと願ってます。卒業しますが僕も同じ気持ちで仕事を頑張り、JCの仲間を応援しています。

7年間本当にありがとうございました。



【JC生活を振り返って】

卒業生 鈴木 亜紀子 君

JCが何かも知らず、たまたま出会った大らかで陽気なN先輩といじられ上手で温厚なTさん、お二人の様子が学生時代からの仲かと見間違うような雰囲気、「友だちができたらいいな」と思い入会しました。

「あの人があんなに頑張ってくれているから、せめて私のできることくらいは」と思ったのは、T委員長が多くの時間を使って制約の多い私が居やすいようにしてくれたから。「O委員長に副委員長がないなんて嫌。私が支えたい」と思ったのは、O委員長が副委員長を頑張ってきたから。現場がまるでダメな委員長の代わりに現場をまわしてくれたH副委員長とK副委員長は、「委員長に恥をかかせたくない」と頑張ってくれました。感情出しまくりにキレまくりの専務を、どっちが女房役かわからないくらいに支えてくれたT理事長（2回目の登場）には、夫婦関係解消後も甘えました。「この子が頑張っているから」と私のLOMへの気持ちをつなぎ止めてくれたR委員長には翌年も隣にいてもらい、愉快的夫婦生活を送らせてもらいました。M副理事長、S副理事長、Y副理事長、そしてR専務は、私の目となって物事をよく見てくれました。「ごめん。妥協したくない」が口癖の理事長のもと、大変お疲れ様でした。最高で最強の執行部でした。H委員長、KT委員長（これだけイニシャルじゃない）、M委員長もそれぞれ個性豊かに頑張ってくれました。みんなが困ったときには恩返しさせてください。LOMのみんなが愛おしくて、幸せな理事長生活でした。最後の1年は、若いT委員長のところにおいていただき、たくさんのことを受け止めてつないでもらえました。

LOMの外でも、岐阜BC同期理事長や本会同期内監など、大好きで素敵な仲間巡りに巡り合うことができました。

振り返ってみると、JCでは「友だち」という言葉では表し尽くせない大切な存在がたくさんできました。

「人のいない社会」をつくっているかのような風潮の現代社会で、これほどまでに、人を思い、人に揉まれて、人を学べる環境は少ないのではないのでしょうか。人は、人との実体験でこそ磨かれると思います。青年会議所は素晴らしい団体です。

楽しいJC生活を、どうもありがとうございました。

【JC生活を振り返って】

卒業生 虎山 宗哲 君

青年会議所に所属した11年を振り返り、言葉では感謝しきれないほど多くの学びや経験、出会いをいただきました。

私は生まれも育ちもお寺で、大学卒業後は宗派の道場に入り、5年の修行の後、保寿院に戻りましたので、この青年会議所に入会した当時は社会人経験がまったくない状態でした。

入会当初はまずは社会人としての当たり前の作法、仕事とは何か、そういったことから先輩にご指導いただきました。青年会議所活動に関われば関わるほど、先輩方の一人一人の想いの重さに気づかされ、その活動の意味の深さを学ばされました。

特に入会してすぐの3分間スピーチ、委員会配属で実施した青少年事業の設営を経験させていただき、青年会議所は言動や行動に想いをどのように乗せるか、どのように具現化するのかを学ぶ場であると知りました。

また、LOMの活動以外にも青年会議所には出向の機会もあり、卒業までに10回のチャンスをいただきました。この出向を通して得たものは何よりも人との出会いであったと思います。彼らとの交流は年次を越えてもつながっており、私が協議会の委員長を務めた際やコロナ禍の理事長を務めた際にも多くの助言やアドバイスをいただき、本当に大切な存在であったと感じております。

この青年会議所での11年間は自分自身の人生において有意義な時代でした。この11年間の貴重な経験をいただいた青年会議所という組織はもちろん、現役会員のみなさん、諸先輩方、他LOMの多くのメンバーの皆様には本当に感謝申し上げます。永い間、ありがとうございました。



【JC生活を振り返って】

卒業生 原 正嗣 君



多治見青年会議所に入会させていただき、早いもので11年が経ちました。
 私は長野県からご縁があって多治見市に参りましたので、この地域での新しい繋がりができれば、との思いで入会致しました。
 しかしながら、入会前から定時総会での新入会員紹介の練習があり、何度も同じ事を繰り返すばかりで、正直変な団体に入会してしまったな・・・と考えておりました。また入会後も周りのJC活動への熱意について行けず、今となれば斜めから見るような姿勢で参加していたように思います。
 そんな中で転機となったのは同期の大嶽委員長の副委員長を担った時だと思います。「能ある鷹は爪を隠す」ではないですが、やる時の切替え、リーダーシップ、現場対応能力など普段は見せない大嶽委員長の高い能力を目の当たりにしたのです。そして自身の未熟さを痛感して周りを見渡しますと、それぞれの業種で懸命に頑張っている有能なメンバーを素直に見られるようになり、JC活動にも真っ直ぐに向き合うようになりました。
 その後は委員長、常任理事、副理事長まで役を与えていただきました。その時々で至らぬところも多くありましたが、多くのメンバーに支えられ、助けられました。活動を通して様々な学びもありましたが、何よりはこの地域で素晴らしい繋がり、友情を築くことができたことが私の財産です。
 現役メンバーの皆さま、隣に座っているメンバーは実はすごいやり手です。目の前で話しているメンバーは実はかなり頼りになる人です。どうか素晴らしい出会いを見落としてしまわないように歩いて行って下さい。
 最後になりますが、このJC生活の中でご縁をいただいたすべての皆さまに感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬお付き合いの程お願い申し上げます。

【協調型リーダー育成事業Ⅲ を終えて】

協調型リーダー育成委員会 副委員長 滝沢 瞭 君



11月6日(月)にバロー文化ホールにて、協調型リーダー育成事業Ⅲが開催されました。
 今回の事業では、多様な意見を引き出す湧活力を育むために、100名規模の管理職の経験があり、現在も管理業務や自ら講師として研修の企画、制作、実施なども行っている、株式会社ビズアップ総研 専任講師の宮崎政人氏をお招きして、心理的安全性と価値観ワークについて、グループワークを交えて講演していただきました。
 価値観ワークにて価値観の多様さをより実感してもらいました。グループワークを行い、ブレインストーミングという方法で、各グループで意見の引き出し方や実際にテーマに沿った意見を出し合うことで、多様な意見を引き出す力を育めたと思います。
 私は「些細な報告や、ミスへの報告を受けたときにその報告に対して感謝を伝えると心理的安全性が生まれる」という講師の言葉がとても印象に残っていて、実践していこうと思いました。
 この1年間の協調型リーダー、傾聴力、客観的思考、湧活力すべて1年前の自分では気づくことのできなかった事ばかりで、傍で見ていてこんな熱く、こんな素晴らしい事業を作り上げた寺島委員長にはとても感謝しています。
 ご参加いただいたメンバーの方、リハーサルから設営までご協力頂いた委員会メンバーの方もありがとうございました。

1月例会 出席率 2月例会 出席率 3月例会 出席率 4月例会 出席率 5月例会 出席率 6月例会 出席率 7月例会 出席率 8月例会 出席率 9月例会 出席率

全体 100%	全体 83%	全体 85%	全体 90%	全体 66%	全体 74%	全体 78%	全体 89%	全体 80%
---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

総務委員会 100%	総務委員会 82%	総務委員会 91%	総務委員会 91%	総務委員会 45%	総務委員会 55%	総務委員会 67%	総務委員会 100%	総務委員会 78%
交流推進委員会 100%	交流推進委員会 73%	交流推進委員会 82%	交流推進委員会 82%	交流推進委員会 45%	交流推進委員会 91%	交流推進委員会 82%	交流推進委員会 91%	交流推進委員会 82%
協調型リーダー育成委員会 100%	協調型リーダー育成委員会 90%	協調型リーダー育成委員会 60%	協調型リーダー育成委員会 80%	協調型リーダー育成委員会 80%	協調型リーダー育成委員会 70%	協調型リーダー育成委員会 70%	協調型リーダー育成委員会 70%	協調型リーダー育成委員会 60%
未来を切り拓く力育成委員会 100%	未来を切り拓く力育成委員会 80%	未来を切り拓く力育成委員会 100%	未来を切り拓く力育成委員会 100%	未来を切り拓く力育成委員会 80%	未来を切り拓く力育成委員会 70%	未来を切り拓く力育成委員会 80%	未来を切り拓く力育成委員会 90%	未来を切り拓く力育成委員会 90%
執行部 100%	執行部 100%	執行部 100%	執行部 100%	執行部 100%	執行部 100%	執行部 100%	執行部 100%	執行部 100%

10月例会 出席率 11月例会 出席率

全体 73%	全体 76%
--------	--------

総務委員会 6.6%	総務委員会 8.9%
交流推進委員会 7.3%	交流推進委員会 6.4%
協調型リーダー育成委員会 5.0%	協調型リーダー育成委員会 6.0%
未来を切り拓く力育成委員会 9.0%	未来を切り拓く力育成委員会 8.0%
執行部 10.0%	執行部 10.0%



1年間をふりかえって



総務委員会
委員長 谷口 雄亮

2023年度総務委員会では、組織力の向上をテーマに、足並みを揃えて活動を行うことで方向性の共有を図ること、そしてメンバー間のつながりを強固にし、結束力を向上させることに邁進してまいりました。

1月には多治見青年会議所の方向性についてご理解いただくため定時総会式典を開催致しました。8月には次年度理事長予定者の決定とメンバー全員の人となりを知る機会を作りたいと想い会員親睦事業を行いました。

また、例会に出席することで多治見青年会議所の進む方向性を全メンバーに共有できる。という想いから、出席率の向上に取り組んでまいりました。J C NEWSは、写真をなるべく多く載せることでそれぞれの記事を目に付きやすくし、最後まで読んでいただく設えを重視いたしました。HP・SNS更新においては、多治見青年会議所の活動内容を積極的に地域へ発信してまいりました。また本年度の工夫として各事業の先に趣旨説明動画の配信を行いました。事業の開催に至った背景・目的から開催までの準備の様子や意気込みなどを委員長に話していただくことで、見えない努力の見える化ができ、それがメンバーに浸透することで事業の参加意識が向上したと思えます。

最後に卒業式では卒業生のこれまでのご活躍を振り返り、感謝と敬意を伝え、ご活躍と功績を称えます。卒業生を送る会では卒業生の門出を祝福し、メンバーには卒業生のその思いを引き継ぎ、2024年以降の運動につなげていただきたいと思います。これまで高めてきた組織力をもって卒業生を送り出せるように最後まで全力で取り組んでまいります。



交流推進委員会
委員長 篠塚 栄人

交流推進委員会では、個人間のつながりを発展させることで組織のつながりを強くし、多治見青年会議所が持続可能な組織となるよう、積極的な交流の推進をテーマに活動してまいりました。

初めに、1月の新年交歓会、3月の訪韓と東濃会議、4月のJ Cゴルフ・サッカー大会、8月の済州南元J Cとの交流旅行、9月のOB現役親睦事業、10月の豊田青年会議所との野球交流と今年はコロナ禍が開け、対面での交流がたくさんできたことを嬉しく思います。昨日まで会ったことのない者同士が顔と名前を覚えるところからスタートし、時には諍いがありながらも、肩を組んだり抱き合ったり。人間関係を構築する姿を特等席で見られたことは本当に役得でした。また、委員長になることで多くのメンバーと密に交流したことは人や組織を学ぶ良い機会になり、特に自分自身の得意不得意や性質を深く知ることができたことは、今後の人生に於いて最も価値のあることだったように思います。

最後に、ウェットな人間関係を得意としない私が交流の委員長なんて、とはじめは思いましたが、今では終わりを迎えたことを寂しく思います。4 J Cゴルフ・サッカー大会でのサッカー場の整備は、ウェットどころかバタバタのドロドロになりながらも、メンバー一同で何とか事業を成り立たせようと奮起する光景は思い出だけで目頭が熱くなります。当日は涙を流すことを別の方に譲りましたが、心ではしっかりと泣いていました。本当に1年間ありがとうございました。



協調型リーダー育成委員会
委員長 寺島 大貴

協調型リーダー育成委員会では、個々の価値観を尊重しながら客観的にものごとを捉えチームで意見を出し合い解決へと導いていけるリーダーを育成するために1年間活動して参りました。

1月には、新入会員の皆様に帰属意識と参加意識を高めるために新入会員オリエンテーションを行いました。2月には、八王子青年会議所の歴代OBであり、東京ブロック協議会の会長経験のある齋藤祥文先輩をお招きして会員意識高揚事業を行いました。6月には「傾聴力」を育むために協調型リーダー育成事業Ⅰを行いました。講師には、ヨガインストラクターの育成をされている北野恵理先生をお呼びしました。9月には「客観的思考力」を育むために協調型リーダー育成事業Ⅱを行いました。一人ひとりの立場になって考える、決断する、実行する、それを何回も繰り返し行うことで効果が高まると考えバレーボールという競技を選定しました。また年間を通し例会にて、3分間スピーチを行いました。リーダーとしての資質向上を行うことができたと感じております。1年間多くのメンバーの協力を得て、すべての事業を無事に終えることができました。本年度は完全に対内向けの事業のみということで活動をスタートしたなかで、対内向けだけであれば本当に意味や想いのある事業を作りたいという気持ちで1年間活動して参りました。例年にはない体験型の事業など、想定外の難しいなかで議案作成から事業当日まで多大なるサポートをいただきました委員会メンバーには感謝しかありません。また多くの事業に参加いただきましたメンバーにおかれましても感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



未来を切り拓く力育成委員会
委員長 山本 将寛

未来を切り拓く力育成委員会は子ども達が将来様々な人と協力関係を築いていけるように価値観の違う人を理解するために聴く力と自己開示力を育む事業を行ってきました。

4月に陶器まつりに参加させていただき、未来を切り拓く力育成事業Ⅰを行いました。小学1～3年生を対象に1チーム4名が密室で出題される6つの問題を色々な意見を出し合いクリアする脱出ゲームから違った意見があることを知る聴く力と、人と違って自分の意見を発信してよいという自己開示力を育んでもらいました。

8月は、未来を切り拓く力育成事業Ⅱを永保寺さんにて小学4～6年生を対象に1泊2日のキャンプをから、アサーショントレーニングを用いた学習と、チームで話し合い、協力して行う体験の両者を行うことで聴く力と自己開示力を育めるように工夫を施し、相手の意見を大切にするといい考えを学び聴く力と自己開示力を育むという目的で行いました。

また委員会メンバーは事業Ⅰの反省から委員会以外のメンバーへの理解を深めるための説明を徹底し、事業をスムーズに行うために進んで次の動きの支持を出すなどがしっかりできており委員会としての成長を顕著に感じることができました。ほとんどのメンバーが宿泊を伴う事業を行ったことがない状況でしたが、今後行っていく宿泊事業の基礎となるものを構築できた事業でした。事業Ⅰ、Ⅱ共に多くのメンバーの方の協力があつたからこそ実現することができたものでした。そして委員会メンバーの自分事とした積極的な行動がこの結果を生み出してくれたと感じています。ありがとうございました。

J C I Creed

The Creed of

Junior Chamber International

We Believe

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;
That government should be of laws rather than of men ;
That earth's great treasure lies in human personality ; and
That service to humanity is the best work of life.

J C I 綱領 (意識)

我々はかく信じる

「真理は人生に意義と目的を与え人類の同胞愛は国家による統治を超越し公正な経済は我々の自由な経済行動によってこそはたされ政府には人治ではなく法治が必要であり人間の個性はこの世の至宝であり人類への奉仕が人生最大の使命である」

J C I Mission

“To provide leadership development opportunities that empower young people to create positive change.”

(意識)

青年会議所は青年が社会により良い変化をもたらすための発展と成長の機会を提供する。

J C I Vision

“To be the foremost global network of young leaders.”

(意識)

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

J C 宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう